

※情報は10月24日時点のものです。最新情報は、各問い合わせ先にご確認ください。

お知らせ News 空き家セミナー・相談会

☎本庁舎まちづくり推進課 内2238

講師によるセミナーと、専門家が答える相談会を開催します。事前に電話でお申し込みください。



- 期 日 11月26日(土)
- 会 場 市立図書館 中会議室1
- 申込先 本庁舎まちづくり推進課

《空き家セミナー》

相続や成年後見人などの住宅に関する法律問題を通じて「家の引き継ぎ方」を学びます。

▷時間 午前10時30分～正午 ▷定員 30人(先着順) ▷講師 倉茂 洋一氏(福島県司法書士会)

《空き家相談会》

▷時間 午後1時～4時 ▷定員 10人(先着順) ※申し込み時に相談内容をお知らせください。

お知らせ News 東北管内初！「歴まちカード」を配布

☎本庁舎まちづくり推進課 内2240

「歴まちカード(歴史まちづくりカード)」を配布します。

カードは、歴史まちづくり計画認定都市の歴史・文化的遺産などを紹介するもので、福島県では白河市、国見町、磐梯町、桑折町、棚倉町で配布されます。

- 日 時 11月4日(金)から/午前10時～午後4時
- 場 所 旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷(本町66)
- ※休館日 月曜(祝日の場合は翌火曜)、年末年始
- 枚 数 5,000枚(1人1枚 なくなり次第終了)
- ※無料配布

《歴まちとは?》

国から歴史まちづくり計画の認定を受け、歴史的風致の維持・向上を図り進めるまちづくり。



お知らせ News 第34回 ふくしま駅伝 白河市チーム紹介

☎本庁舎生涯学習スポーツ課 内2503

11月20日(日)に、今年で34回目の「ふくしま駅伝」が開催されます。県内の市町村対抗で行われ、本市から福島市まで16区間95.0kmのコースを襷でつなぎます。本市の代表として日々練習に励んでいる白河市チームの応援をお願いします。

詳しくは「ふくしま駅伝公式ホームページ」をご覧ください。



お知らせ News 第5弾！ しらかわ生活応援割引 クーポンキャンペーン

☎商工課 ☎205910

市民の皆さんと市内小売店などを応援するクーポン券を、12月中旬に全世帯へ郵送します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

- 配布枚数 1人あたり3,000円分(250円×12枚)
- 利用方法 会計500円(税込み)につきクーポン券1枚(250円)が利用できます。

※利用方法は、第4弾クーポン券と同じです。《クーポン券が使用できる取扱店を募集中!》

- 対象店舗 市内に本社または本店がある事業者 ※ガソリンスタンドは、本社が市外の事業者も対象。
- 申込方法 白河商工会議所 ☎23101、表郷商工会 ☎3065、大信商工会 ☎402070、ひがし商工会 ☎2779へ直接お申し込みください。
- ※随時申し込みを受け付けます。ふくしま感染防止対策認定店の積極的な参加をお願いします。



■新型コロナワクチンのお知らせ

《オミクロン株に対応したワクチン接種》

市では、10月3日から集団接種を実施しています。

- 対象者 2回目の接種を終えた12歳以上の方
- 使用ワクチン ファイザー社製(12歳以上) モデルナ社製(18歳以上)
- ※1人につき1回限りの接種です。



- 接種方法 前回の接種を市の集団接種で受けた方には、接種時期にお知らせを送付します。それ以外で集団接種を希望する方は、コールセンターにご連絡ください。
- ※個別接種も実施しています。希望する方は、個別接種実施医療機関に直接予約をお願いします。



◀個別接種実施医療機関



◀新型コロナワクチン接種関連

《新型コロナワクチン接種コールセンター》

- ☎0120-567-343
- 対応時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ

《集団接種の日程》

接種間隔の短縮やワクチンの供給状況により、変更となる場合があります。その際は、市ホームページなどでお知らせします。

| 対象 | 接種回数 | 令和4年 | | | |
|---------|--------------------------|------|-----|-----|-----|
| | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| ①60歳以上 | 3回目 | | → | | |
| | 4回目 | | → | | |
| | 5回目 | | | →→→ | |
| 18～59歳 | ②基礎疾患を有する方、医療従事者、施設従事者など | 4回目 | → | | |
| | | 5回目 | | →→→ | |
| | ③ ②以外 | 3回目 | | → | |
| | | 4回目 | | →→→ | |
| ④12～17歳 | 3回目 | | → | | |
| | 4回目 | | → | | |

11月は「ねんきん月間」

☎本庁舎国保年金課 内2164 / 白河年金事務所 ☎4161

《11月30日は「年金の日」です!》

日本年金機構は、厚生労働省と協力し、11月を「ねんきん月間」、11月30日を「年金の日」と位置づけ、公的年金制度の普及・啓発活動に取り組みます。白河年金事務所でも、各種セミナー・説明会を実施しています。ぜひご参加ください。

- ◇学生向け年金セミナー
- ◇退職者向け制度説明会
- ◇新規適用事業所向け制度説明会 など
- ※他にもセミナー・説明会を実施しています。詳しくは、お問い合わせください。

《ねんきんネットをご利用ください》

国民年金の加入月数や納付状況など、最新の年金記録をスマホやパソコンで手軽に確認できます。ぜひご利用ください。



《国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です!》

令和4年中に納めた保険料は、所得税および住民税の申告で、全額が社会保険料控除の対象となります。

本年中に保険料を納付し、社会保険料控除の適用を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を納めたことを証明する書類の添付が必要です。

日本年金機構から、次のスケジュールで「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が対象者宛てに発送されます。年末調整や確定申告にご使用ください。

なお、家族(配偶者や子どもなど)が負担すべき国民年金保険料を納めている場合には、自身の保険料に加え、その保険料も控除の対象となります。

| 対象者 | 発送時期 |
|--|-----------------|
| ①令和4年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納めた方 | 令和4年10月下旬～11月上旬 |
| ②令和4年10月1日から12月31日までの間に国民年金保険料を納めた方 ※①に該当する方を除きます | 令和5年2月上旬 |

《調査の概要》

4月19日、小学6年生と中学3年生を対象に調査を行いました。この調査には「教科に関する調査」と「質問紙調査」があり、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるため実施しています。

《公表の目的》

調査結果から捉えられた実態と、家庭学習の取り組みや読書の状況など、家庭生活での課題を知ってもらい、学校が保護者や地域と一体となって、学力向上や学習環境の改善に向けて取り組むことを目的としています。

《教科に関する調査結果》 ※全国のみ小数点以下の数値が公表されています。

| 平均正答率 (%) | 小学6年生 | | |
|-----------|-------|------|------|
| | 国語 | 算数 | 理科 |
| 白河市 | 67 | 63 | 64 |
| 福島県 | 64 | 61 | 62 |
| 全国 | 65.6 | 63.2 | 63.3 |

| 平均正答率 (%) | 中学3年生 | | |
|-----------|-------|------|------|
| | 国語 | 数学 | 理科 |
| 白河市 | 70 | 50 | 51 |
| 福島県 | 68 | 47 | 48 |
| 全国 | 69.0 | 51.4 | 49.3 |

●小学6年生

▷国語

「言語の特徴や使い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、全国平均を大きく上回る正答率でした。特に、漢字を正しく使う問題や書く問題は高い正答率でした。

▷算数

「数と計算」や「変化と関係」の領域では、全国平均を上回る正答率でした。一方で、割合について正しい説明文を選択する問題は全国平均を下回る正答率でした。

▷理科

「生命」の領域では、観察記録を選択する問題の正答率が9割を超えました。一方で「エネルギー」の領域では、課題解決に必要な実験結果を選択する問題が全国平均を下回る正答率でした。

●中学3年生

▷国語

すべての領域で、全国平均と同じまたは上回る正答率でした。特に、資料から必要な情報を引用し、書き加える問題が全国平均を上回る正答率でした。

▷数学

「数と式」の領域では、素因数分解や方程式を解く問題の正答率が全国平均を上回りました。

「関数」の領域では、関数の理解や問題の解決法を数学的に説明する問題が全国平均を下回る正答率でした。

▷理科

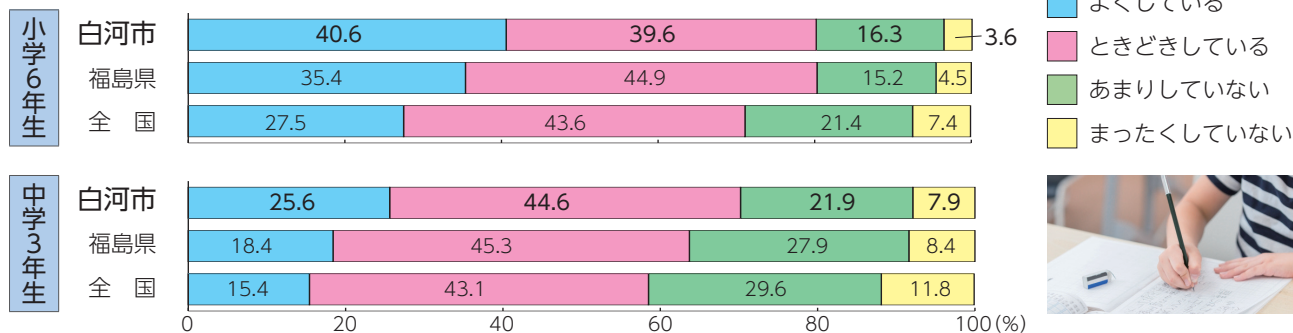
すべての領域で、全国平均を上回る正答率でした。特に「生命」の領域は高い正答率でした。「エネルギー」の領域では、重力とつり合う力を矢印で表し説明する問題が全国平均をやや下回る正答率でした。

※各学校ごとの調査結果や考察など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



《質問紙調査結果（一部）と考察》

●質問 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



●考察

「よくしている」「ときどきしている」の割合が、小学校で8割、中学校で7割と全国の平均を上回りました。各学校で、家庭と連携し、児童生徒が主体的に学習できるようさまざまな取り組みを行ってきた成果と考えます。今後も、学習の仕方や計画の立て方を指導していきます。家庭でも、学習内容の確認や子どもの取り組みを励ますなど、ご協力をお願いします。

